

厳木高校の特徴

School Mission

厳木高校は、生徒一人ひとりの個性や特性に応じたカリキュラムや体験活動を通して、地域や社会に貢献できる心豊かな人材を育成します。

単位制・二学期制を導入することで、ゆとりある校時設定と、進学から就職まで幅広く対応できるコース設定を可能にしています。

また、少人数教育や学び直し、学習支援員の配置、通級指導など、様々な支援と配慮でゆとりある学習環境を実現しています。

学校所在地：唐津市厳木町厳木727 生徒数：202名

連絡先：TEL 0955-63-2535 FAX 0955-51-5021

URL：<https://www.education.saga.jp/hp/kyuuragikoukou>

地域での校外活動

学校を飛び出し
地域で
実践的な学びを

厳木駅活用プロジェクト

生徒の約9割が使用しているJR厳木駅は、映画のロケ地にもなった木造の駅舎と100年前に建てられた給水塔が珍しい、地域の憩いの場

です。厳木高校では、「厳木駅活用プロジェクト」を立ち上げ、駅の清掃やイベントの企画運営を行っています。6月2日に開催した「無人駅の日」では、200人を超える方々にご来場いただきました。今年で3年目を迎える8月31日の「厳木土曜夜市」のほか「ちっちゃな美術展」など年間を通して様々な企画に参加しています。

地域イベントへの参加・協力

6月8日 厳木さくらんぼ「どろんこマルシェ」

7月25日 佐用姫の湯温泉寺子屋

8月23日 厳木夏祭り

道の駅厳木での農作物の販売 イベント時の協力

地域に根差した体験型の主体的な学び

令和6年度の
取り組み

厳木町の豊かな自然や
伝統文化に実際に触れて
郷土とのつながりを感じる
厳木高校の独自のカリキュラム

体験学習基礎（1年）

Aコースでは、学校林や環境芸術の森の整備や厳木ダムの見学等を通して、森林や水資源の保全について学びます。Bコースは、学校農園・果樹園での農業体験と、厳木道の駅での農作物の販売を行いました。Cコースは、地域の幼稚園や福祉施設での交流を行いました。

教養科目・故郷学（2年/選択）

町内に伝わる伝統芸能「広瀬浮立」の演奏、装束の着付け体験、広瀬浮立の歴史についての調べ学習を通して、地域の伝統文化を継承することの大切さを学びました。

教養科目・ボランティア（3年/選択）

地域の清掃活動、小学校との連携授業を通して、地域とのつながりを感じ、地域の為に何ができるかを考え行動をすることができました。

厳木高校の誇る部活動

Club Activity

「令和6年度佐賀を誇りに思う講演会」

公益社団法人全日本アーチェリー連盟理事長
田中伸周氏による講演会

本校の保健体育科教諭としてご勤務された田中氏から、佐賀から全国、そして世界で活躍するために高校時代に何をすべきかというテーマで、講演いただきました。

アーチェリー部

令和6年度 第62回佐賀県高等学校総合体育大会アーチェリー競技
男子個人 8位 （九州大会出場）

美術部 R5年3月、厳木駅旧ギャラリースペース壁画を制作しました

令和6年度佐賀県高等学校総合文化祭美術・工芸展

デザイン部門 第1席 （九州大会推薦）